

令和6年度 鳥取沿岸土砂管理連絡調整会議（西部地区） 議事要旨

日 時：令和6年12月18日（水） 14時30分～16時

場 所：西部総合事務所1号館2階 講堂

1 議事

（1）サンドリサイクル事業の効果検証及び課題抽出と今後の対応方針（鳥取県河川課）

○各海岸のサンドリサイクル実績および短長期の汀線変化傾向についての考察が報告された。

<主な意見>

○（鳥取県米子県土整備局）

- ・皆生工区の突発的な侵食と気候変動による潮位上昇の関係性も技術検討会で議論されているため、本会議の説明資料にも潮位の情報も入れ込んで注意していく必要がある。

○（鳥取大学 黒岩教授）

- ・長周期波は遡上範囲が大きくなり浜崖なども発生しやすくなることから注意が必要。富益工区ではそういった事例もあるため、波高だけではなく周期も注意しておく必要がある。
- ・養浜を行う場所にある程度の優先順位を付けてはと思う。例えば、砂浜消失により海岸の利用はされていない場所で、且つ背後の護岸は健全といった場所では養浜の必要はなく、利用面で砂浜が必要とされているところや砂浜が消失し護岸が被災しそうな箇所に優先的に養浜などを検討してはと思う。
- ・課題と今後の対応方針について、事務局提案の方向性で良いと考える。

（2）各管理者からの報告

■令和6年 河口砂州の変遷について（国土交通省日野川河川事務所）

富益工区におけるサンドリサイクルの実施状況及び周辺の地形変化が報告された。併せて日野川での土砂管理対策及びモニタリングの実施状況が報告された。

利用面における緊急養浜の実施可否等について、関係機関間で検討・調整することが望ましいとされた。

■境港公共マリーナの砂堆砂対策について（境港管理組合）

港内への堆砂土量の推移及び令和10年まで実施予定のマリーナ拡張整備の計画及び実施状況が報告された。また、整備では砂止突堤として既存の防波堤を存置し、重機の足場としての利活用も見込む旨の報告がされた。

■海岸保全基本計画の改訂に伴う検討委員会について（鳥取県河川課）

気候変動に伴う海岸保全基本計画の改訂状況及び沿岸市村へ来年度に立ち上げる委員会への参画要請が行われた。